

FORZA 駒澤 選手紹介 PART15

栗原健次 (DF・4年)

今回の選手紹介は栗原健次選手です。小学校の頃から上を目指しクラブチームを変えたという栗原選手。高校時代はサッカーだけでなく勉強にも力を入れたというお話や、我慢強くなったという大学4年間を振り返って、今思う様々な思いを語っていただきました。

チームを変えた小、中学校時代

サッカーは小2の時に2つ上の兄貴が地元のサッカークラブに入っている事で、自分もそれについてやるのかなと思って始めました。ボール蹴ったというよりは、ずっと走ってました。小4の時に地元のクラブチーム辞めて横浜マリノスブライマリーに入ったんですよ。よく遊ぶ友達でマリノスに行くって奴が居たんで、自分ももっと上手くなりたいていう気持ちが強くてじゃあ、自分も行ってみるかなって思ってチーム変えました。それまでは全然違いますね。地元のクラブでは自分が一番上手いと思って中心になってやっていたんですけど、マリノスの選抜チームに入ってからはいんな自分より上手い奴らが多いのにビックリして。やっぱりもっと頑張んなきゃいけないんだなって、その時は驚きましたね。サッカー始める前は他にも遊びの中でスポーツを色々やりました。クラブチームに入ってやっとサッカー一本に絞れた感じで。サッカー1回やったらおもしろくてやみつきになりました。サッカーが1番楽しかったです。中学では、そのままマリノスの試験に受かってジュニアユースに行くことができました。中学の時は、小学校の時よりもっと上手い選手が入ってきて埋もれてましたね。一緒に練習しても周りが上手くて凹んで



ました。その時はきつかったです。中2の時にマリノス辞めたんですよ。で、中学のサッカー部入りしました。それまではレギュラー争いとかも激しい中でやって。でもサッカー部に入ったら楽しく遊びみたいになってましたね。変えた理由は本当に落ち込んで、全部嫌になっちゃって。サッカーを楽しくなくなると、そのときは精神的に凄く弱かったです。中学のチームは弱すぎました。地域の大会でも一回戦勝てれば良いぐらいで。物足りない気持ちがありますね。楽しくサッカー出来るようになったんですけど、でも楽しさの意味って違ったりじゃないですか。体育会の楽しみとサークルの楽しみの違いみたいな。だから自分で残って残ってやったりとか、毎日ボール蹴る事は欠かさず意識してやりました。今思うのは、マリノスで試合に出れなかった時に真剣にはやっていたんですけど、何でもどうもやったら出れるだろうかって考えてやっていたのかなって。そこは悔いが残ってますね。

サッカーと勉強の両立

高校は、近くでサッカーの強い所に入ろうと思ってたんで横浜東に決めました。毎日5時半くらいに起きて学校行ってボール蹴ってましたね。今までで一番練習したのは高校時代だと思います。監督はサッカーの部分で教わる事が多くて尊敬してましたね。2年の時からずっと

4年間 人間的に成長した大学

どうせやるんだつたらトップレベルのチームでもいっきりやりたくなって思って駒大に決めました。最初に出た公式戦は、3年の時のリーグ戦初戦です。公式戦って独特の雰囲気があって凄く緊張したのを覚えてます。応援される側に回ってみて、応援って凄く選手に力を与えてくれるもんなんだなって実感しました。

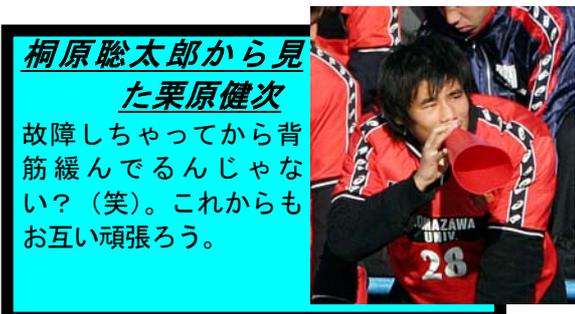
レギュラーで出るようになりまして。3年になって副キャプテンやりました。それまで試合にも出て中心としてやってたので、そこはやらなきゃ駄目だろうなって思って。まあ副キャプテンですけど(笑)。大変でしたね。でもそこが学んだこともありました。勉強になりました。挫折は無かったですね。追われる辛さっていうか、同期の中にも自分が試合に出てる事で試合に出れない選手が居るわけじゃないですか。そういうプレッシャーを感じた時期はありましたね。勉強は最後、成績優秀者みたいなので賞もらいました。サッカー出来るだけじゃ駄目だと思って。サッカーと勉強を両立させるのはきつかったですけど、サッカーだけ出来る人っていくらでも居ると思うんですよ。でもそこで勉強もじっくり出来る人ってなかなか居ないじゃないですか。だからそこを自分はやってやろうって思っています。

3年でAチームに上がってからは凄く変わりましたね。その時は、もうちょっと頑張れば試合に手が届く所じゃないですか。だからレギュラーとして試合に出続けたいなっていう思いは強くなりました。監督からは、今よりもっと突き詰めてもっと良くなるっていう風に考えていかなければいけないっていう意識を常に持ち続けていかなければいけない事を教わりました。4年になって、自分の事だけじゃなくチームの事を考えて、チームがどうやったら良くなるかと後輩に何を伝えていくのかっていう事は考えさせられますね。大学では我慢強くなったと思います。中学の時は辛いことがあるとすぐやめちゃうってんですけど。大学入って嬉しい事よりも思うようにいかない事が多かったですよ。辛い時にこそ何を考え、それを乗り越える為にどうしていかないと出来ないのかっていうのを冷静に考えて実行出来るようになった。駒大に来て良かったって思います。良い仲間に出会えたっていうのはありますし、試合で勝った時にみんな喜びを分かち合えた時は、駒大でサッカーやって良かったなって瞬間です。4年間振り返って楽しかったですですね。厳しい事が多い4年間だったんですけど、その中で試合にも出た事が出来て、チームに貢献出来たっていうのは嬉しかったです。成長できる4年間だったなって思います。サッカーはもう自分とは切り離せないですね。楽しいですし、ずっと続けていきたいです。将来の夢は、誰からも一目置かれる信頼される人間になりたいですね。その為に努力していきたいです。

PROFILE
 ●くりはら けんじ / 1982年4月22日生まれ。171cm 65kg。鶴見小・鶴見中(横浜マリノスジュニアユース) - 横浜東高。家族構成は父、母、兄、妹。好きな選手はロナウジーニョ(FCバルセロナ)。長所は我慢強い所。短所は人見知りする所。趣味は読書。得意なプレーは両足のキック。好きな言葉は『文武両道』。

野澤俊介 永峰 綾 越智千絵子 山本麻紗子 伊藤優香 遠藤雅之 川崎篤彦 深松美里 宮下邦彦

FORZA駒沢は毎週金曜に発行！お便り、感想などはこちらまで
 〒154-8525 東京都世田谷区駒澤1-23-1
 駒澤大学マスコミ研究所内「駒大スポーツ・サッカー班」Eメール
 forzakomazawa@otoneil.com
 TEL/FAX 03 (3418) 9556 発行人 野澤俊介



桐原聡太郎から見た栗原健次
 故障しちゃってから背筋緩んでるんじゃない？(笑)。これからもお互い頑張ろう。

ありがとうございました!
 決勝戦、準決勝で、赤いTシャツ、赤い物を身につけて駒大を盛り上げてくださりまして誠にありがとうございました!!
 今後も駒大スポーツでは優勝のかかった試合など、重要な試合で駒大サッカー部を盛り上げていきますので、今後も応援のほどよろしくお願い致します!!